

第1回 泉中央エリアまちづくりミーティング【開催レポート】

発行：泉区泉中央地区活性化推進室

泉区では、泉中央地区の魅力をさらに高めていくため、区役所の建替えにあわせて、区役所から七北田公園までの南北の軸を中心としたエリアのまちづくりを進めていくこととしています。

本ミーティングでは泉中央エリアでの活動事例や他地域でのまちづくり事例を紹介しながら、泉中央エリアのまちづくりについて意見交換を行いました。

日時 令和6年2月18日（日） 14時～16時

会場 七北田公園都市緑化ホール

参加者数 約100名



内容

開会

【泉区副区長 遠藤弘一】

- ・泉区では、区役所建替えに合わせ、泉中央エリアの賑わいづくりに向けた取り組みを進めている。昨年度より地域の関係者の方々による意見交換会を開催し、エリアの目指すべき姿やまちづくりの方向性について議論いただいていた。
- ・泉中央エリアが抱える課題として、建物や都市基盤の老朽化、バスターミナルや周辺道路の混雑等があり、最近ではアリオ仙台泉店の閉店に伴う求心力の低下も懸念されている。
- ・一方、泉中央エリアには多様な都市機能が集積しており、区役所建替えに合わせ、新たな区民広場を整備するほか、民間施設も整備され、また、アリオの後継施設による新たな土地利用の展開も考えられている。
- ・その動きを活かし、今後、賑わいづくりを進めていくためには、行政と区民の皆さんが連携して取り組むことが必要になってくる。
- ・本日のまちづくりミーティングを通して、今後のまちづくりについて一緒に考えていきたい。

泉中央エリアの賑わい創出に向けた検討経緯

【泉中央地区活性化推進室長 熊谷和典】

- ・昨年度末に策定した泉区役所建替事業基本計画では、庁舎整備、賑わい、交通環境の3つの基本方針を掲げており、泉区では、区役所の建替えに合わせ、区役所から七北田公園までの南北の軸を中心としたエリア（泉中央エリア）の賑わいづくりも進めていきたいと考えている。
- ・令和3年度は、区役所の若手職員によるワーキンググループを立ち上げ、新しい区民広場の利活用促進策を検討した。また、昨年度は、区民参加型のワークショップや地域の商工業者等をメンバーとする意見交換会を開催し、新しい区民広場に対する意見を集約した。今年度も意見交換会を継続して開催しており、現在は、広場のほか、泉中央エリアのまちづくりについても意見交換を行っている。

- ・さらに、今年度新たな取組みとして、泉区近郊の6大学の学生によるワーキンググループを立ち上げ、若者の視点で泉中央エリアのまちづくりを考えてもらう取組みも行った。
- ・その他、今年度、秋に開催された複数のイベントを区役所がコーディネートする形で同時期に開催し、相乗効果を生み出したり、ベガルタ仙台と協働して、試合開催日に公共施設の空きスペースでキッチンカーによる販売を試験的に行った。
- ・泉中央エリアの賑わいをつくっていくには、地域の皆さんが主体となってまちづくりを進めていくのが大切だと思っており、今後、その体制づくりやエリアビジョンの作成を、地域の方々と一緒に進めていきたい。

講演「地域主体のまちづくりを進めるために」

【一般社団法人エリアマネジメントラボ理事 堀江 佑典 氏】

- ・まちの関係者が自分たちのまちについて考え、価値を高めることが地域主体のまちづくりの肝。
- ・地域主体のまちづくりの進め方について、5つのステップに分けて紹介したい。
- ・最初のステップは「共同」。様々な組織の方々が同じ立場で話し合い、多様性を知ること。いろいろな立場や価値観が集まってまちが面白くなるので、違いを認め合うことが大切だと思う。
- ・次のステップは「共有」。議論したことを地域の声として発信していくこと。地域のビジョンを掲げ、そこにどうアプローチしていくのかを考える必要がある。
- ・3番目は具体的なまちづくりの実践となる「共感」。大きなことから始めても、お金も体力もかかり、リスクも大きい。小さなことから始め、経験を積み、活動を育てることが重要。
- ・4番目のステップは「共創」。実践した小さなアクションの積み重ねだけではなく、将来の目指すべき姿に向けてバックキャストで目標を考えることで、自分が何をすべきか明らかにする。
- ・最後は「共鳴」。自分たちの取組みといろいろな方が連携し、まちの可能性を広げていく。
- ・地域主体のまちづくりは、できることをみんなでやることが重要。自分が泉中央というまちにどう関わるか、どう楽しめるのかなどを考え、このまちを舞台に、ご活躍いただければと思う。

泉中央地区での活動事例紹介、パネルディスカッション

【登壇者】

コーディネーター	宮城大学事業構想学群教授	平岡 善浩 氏
コメンテーター	一般社団法人エリアマネジメントラボ理事	堀江 佑典 氏
パネリスト	7DAYS, Peace. 代表	植木 徹郎 氏
	せんだい泉エフエム放送株式会社取締役事業部長	田中 秀夫 氏（欠席）
	東北学院大学3年	橋本 磨璃 氏
	東北学院大学3年	三浦 志穂 氏
	泉区泉中央地区活性化推進室	大塚 洋平

会場の皆様から、Slido を用いてリアルタイムで質問やご意見をいただいた。

- 平岡氏 ・ 自己紹介も兼ねて取組みのご紹介をいただきたい。
- 植木氏 ・ 過去に泉青年会議所に所属し、七北田公園でも活動を行ってきた。七北田公園を活用し、泉中央を盛り上げたいとの思いから、団体を立ち上げた。
- ・ 年に3～4回、IZUMI パークデイを実施。今年度はIZUMINATION（七北田公園の樹木をライトアップするイベント）ともコラボした。
 - ・ さらに今年度から仙台市の市民協働提案制度を活用し、建設局公園管理課と協働してNANA+Ichi カフェを開設した。カフェの周りでは市民参加型のワークショップなども開催している。



- 橋本氏 ・ 泉中央地区の活性化に向けた学生ワーキンググループの活動として7DAYS, Peace. と連携し、若者を七北田公園に長く滞在させるための取組みを行った。
- ・ IZUMI パークデイの実施日のほか、イベントのない日にもワークショップやカフェとコラボしたドリンクの販売や情報発信などを行った。
 - ・ 家族連れの参加はあったが、想定したほど多くの若者を呼び込めなかったことが課題であった。

- 三浦氏 ・ 泉中央地区の活性化に向けた学生ワーキンググループの活動として仙台 IZUMI フードリンククラブと連携し、泉中央エリアの飲食店を人に知ってもらうための取組みを行った。
- ・ SNS を用いて情報発信を行うとともに、若者が飲食店に求めるものについて調査した。
 - ・ SNS での発信は、投稿によって閲覧者数も3倍となった。また、アンケート調査でも来訪者から生の声を聞くことができ、どのようなニーズがあるのか把握できた。

- 大塚 ・ 令和3年度に立ち上げられた区役所若手職員のワーキンググループで、区役所建替えにあわせて整備する新しい区民広場の利活用促進について検討を行った。
- ・ 現在の区民広場はほとんど利活用されていないことなどが課題であり、新たな区民広場について、「区民が活用したくなる広場」などの5つの方向性を整理した。
 - ・ 現在は、これも踏まえつつ、広場のデザインなどについて検討している。

- 平岡氏 ・ 本日欠席の田中さんの経歴等をご紹介する。
- ・ FM いずみの取締役であり、泉中央駅前地区活性化協議会にも在籍し、各種イベントやおへそひろばの運営にも携わっている。
 - ・ 中でも大きなイベントは毎年9月に行われる泉マルシェで、3～4万人の来場がある。フランス・パリのマルシェのイメージを大事にしながら運営しているようだ。

- 大塚 ・ 田中さんから、泉区は仙台市北部の玄関口であり、来訪のきっかけがたくさんあるまちになってほしいとの思いから泉マルシェを開催していると伺っている。

- 平岡氏 ・ 堀江さん、ここまでお話を聞いてのご感想を。
- 堀江氏 ・ 学生がまちづくりに関わっていることはすごく大きなこと。その価値をいかにして泉中央に広げていくのが重要なポイントじゃないかと思った。
- ・ 泉マルシェの参考となったパリでは15分都市構想として、街中から徒歩15分圏内で、買い物や仕事を行うことのできるまちづくりを進めている。泉中央の都市基盤もいかに

活用していくのか考えることが大切と思って聞いていた。

- 平岡氏
- ・入場の際にみなさんに投票いただいた「泉中央エリアの目指したい姿」で最も票が多かったのが、「スポーツ文化芸術に親しめる」で、2位は1票差で「地域一体でまちづくりに取り組んでいる」だった。まさに今後目指していきたい姿だと思う。
 - ・学生ワーキンググループの活動で実施したアンケートでは、どのような企画への投票が多かったか。
- 三浦氏
- ・飲食店街にオープンカフェを置き、ランチをする場所などを作るものが多かった。
- 植木氏
- ・ニーズはかなりあると思う。学生さんが取り組みに携わってくれたことはすごく大事なことです。そういう力がないとまちづくりは良くならない。
- 橋本氏
- ・フィールドに出て様々な経験をすることは、学生にとっても嬉しいことだと思う。
- 平岡氏
- ・会場の出席者から転勤族の方はまちづくりにどう関わることができるかという質問が来ている。
- 大塚
- ・転勤族の方も関わりたいと思っていただいていることは大変ありがたいこと。そういった方々の意見も取り入れながら賑わいづくりをしていく必要がある。
- 植木氏
- ・町内会やPTAなどで活動することが一番わかりやすいまちづくりの例だが、それだけでなく、飲食すること、仕事をすること、何かをすること全てがまちづくりに関わることだと思う。
- 堀江氏
- ・まちづくりでは、企画をするマネージャーや、活動を行うプレーヤーも大事だが、最も重要なのはまちのファンの存在。まちの構成員となる人がどれだけいるかが重要。
- 平岡氏
- ・ここにいる皆様も、ファンとして泉中央に関わっていただいているのだと思う。
 - ・会場の出席者から、七北田公園や七北田川の利活用の提案が出ている。できそうなことはあるか。
- 植木氏
- ・昨年、カフェ近辺でキャンパイベントを行ったこともあって、いろいろな取り組みができると思う。これは、民間企業が企画・実施し、30～40名ほどの参加があった。
- 平岡氏
- ・会場の出席者から、学生から見た泉中央の魅力について質問が来ている。
- 三浦氏
- ・緑がある空間も商業施設もあって、便利で落ち着きのある魅力的な空間だと思う。
- 橋本氏
- ・七北田公園があって、体を動かすことや、休憩ができる。心が休まる場所だと思う。
- 平岡氏
- ・会場の出席者から、バガルタ仙台やマイナビ仙台と連携してまちづくりをしてほしいという提案が来ている。
- 大塚
- ・バガルタさんやマイナビさんの存在は泉区にとって大きな特徴と言える。スポーツによるまちづくりは地域貢献度も高く、特に試合開催日は波及効果も大きい。泉区としても、連携した事業は現在も行っており、引き続き連携して取り組んでいきたい。
- 平岡氏
- ・バガルタは賑わい軸の南端で1万人以上の動員があるコンテンツ。大事にしていく必要がある。
 - ・最後に泉中央地区の特性として外すことのできない要素などがあれば聞いてみたい。
- 堀江氏
- ・ペDESTリアンデッキや七北田公園など、駅の近くに魅力的な空間があるということをごだけ活かせるかが、泉中央ならではのまちづくりにつながると思う。
- 平岡氏
- ・泉中央は開駅してから32年が経過し、インフラは整備されているが、アリオ撤退や放

送局の移転など、変革期にあると思う。今あるまちを変えていくためには、行政やディベロッパーの力だけでは難しく、泉中央に住む方や勤めに来る方々と一緒に考えていかないといけない。会場からも多くのご意見をいただいた。心より御礼申し上げます。

参加者からの意見、アンケート結果

1 参加者投票

参加者に向け、「これからの泉中央エリアのまちづくりで目指したい姿・状態」について投票を行っていただいた（ミーティング開始前：一人3票、終了後：一人1票）。結果については以下の通り。



No	目指したい姿・状態	開始前	終了後	主な理由や意見（※一部要約）
1	子育てがしやすい	11	2	・子どもと安全安心に便利に暮らせる施策
2	住み続けたいくなる	12	9	・近くに働く場所があることが第一優先 ・便利かつコンパクトで落ち着いている
3	安全で安心感がある	5	0	
4	買い物がしやすい	10	8	・魅力ある店が少ない ・リーズナブルな値段の店舗があるといい ・Arioの閉店による求心力の低下が懸念
5	通いたくなるお店が多い	5	3	・駅近には買い物できる場所が必要
6	豊かなパークライフがあり、ペットとも楽しめる	3	2	・若者世代でも楽しめる施設が増えてほしい ・七北田公園が素晴らしい
7	天候によらず楽しめる	0	0	
8	ほどよい賑わいがあり、歩きたくなる	5	2	・気軽に食事ができ、散歩で気分転換が出来たりするとよい
9	思い出に残る体験や風景がある	2	0	
10	誰もがやりたいことにチャレンジできる	4	1	・駅前の広いスペースを活用してほしい
11	家のほかに居心地の良い場所がある	8	5	・ほどよい自然が心のオアシスになっている
12	多世代が楽しめる／活躍できる	2	2	・泉中央地区全体に最も求められていること ・あらゆる世代が持ち味を発揮してほしい
13	多彩な目的地・イベントがある	3	5	・人が集まり、楽しめる状態になったら良い
14	何度も訪れたいくなる	11	2	・人を呼び込む仕掛けや自然がある
15	1日を通して楽しめる	3	1	・回遊することを目的に遊びに来れる
16	誰もが思い思いに過ごせて、一人でも大人数でも楽しめる	3	3	・様々な年代や価値観が共存し、心地よい仕組みや街づくりをしていくことが大切
17	交通手段の選択肢が多く、スムーズに移動できる	5	1	
18	スポーツ・文化芸術に親しめる	20	6	・既存の施設を活かした交流人口の増加 ・官民が協働して取り組む必要がある ・多様な公共施設の活用を考える必要がある ・おへそひろばももっと活用できると思う
19	情報の発信拠点がある	4	1	
20	地域一体でまちづくりに取り組んでいる	16	6	・地域一体、官民一体でのまちづくりが経済や人とのつながりの盛り上がりにつながる ・行政だけで主導するのではなく、地域のまちづくりに関心を持つ多様な人達と、高いモチベーションを持ちながら取り組みを進めることが大事 ・どのような暮らしを目指していくのかといった抛り所となるぶれないビジョンを定める ・能動的かつ主体的なマインドにどう持っていくかが大事かと思う
21	その他	0	1	・子どもが生活しやすい

2 会場からの質問

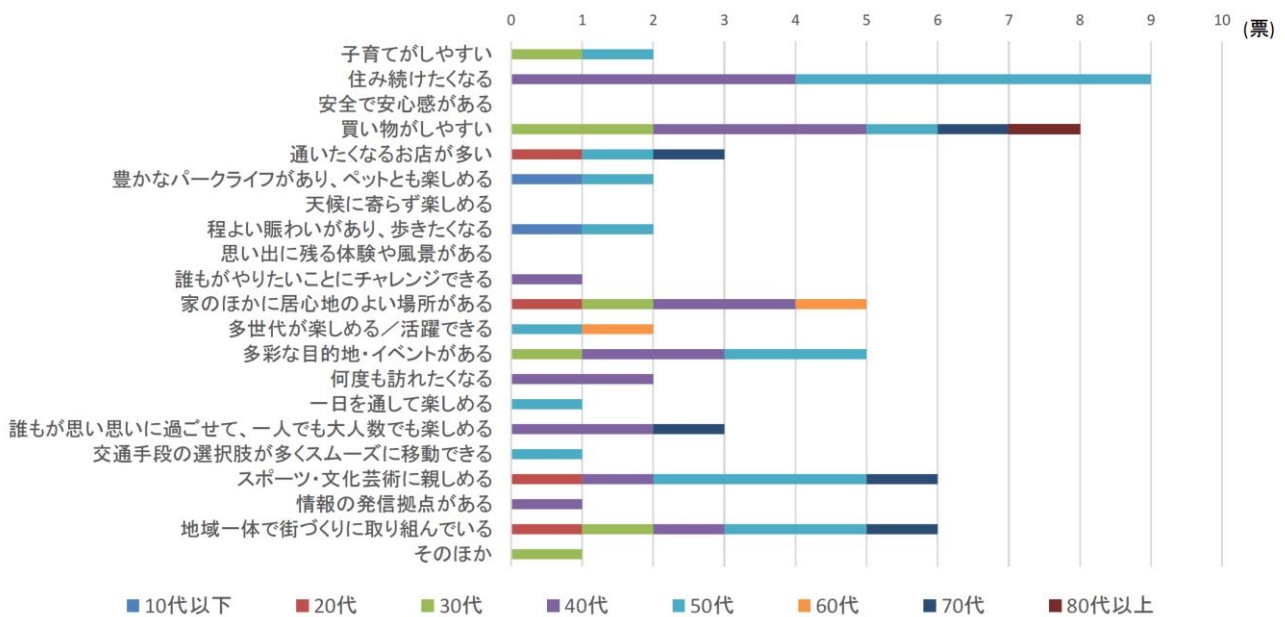
パネルディスカッション時、Slido を用いてリアルタイムで質問やご意見をいただいた。
パネルディスカッションで紹介できなかったご意見等は以下の通り。

(※内容を一部要約しています)

- ・まちづくりを「実施、実行に移す人」を増やすためには、どのようにしていけば良いか。
- ・地域住民、学生、企業、スポーツ団体等、様々な市民が「何かやりたい」となった時に、相談に乗ってくれるような専門の窓口があると、市民参加の敷居が下がると思う。
- ・今回の学生が実施したアンケートを継続して行ったら生の意見が集まるのではないかと思う。
- ・泉中央へ便利にアクセスできる交通システムの構築を望む。
- ・長町の開発で泉中央に活かせる点はあるか。
- ・地下鉄沿線で仙台1のベッドタウンを有する駅ならではの企画と発信をお願いしたい。
- ・まちづくりについて SNS で発信されても、やっていない高齢者には何も分からない。
- ・南北軸に賑わいを生み出すためには駅前の商業施設の連携が重要ではないか。
- ・仙台市全体の中での泉中央の立ち位置を整理する必要があるのではないか。

3 年代別アンケート結果

まちづくりミーティング終了後、「これからの泉中央エリアの街作りで目指したい姿・状態」について、年代も回答いただいた上で調査を行った（年代回答の上、一人1票の投票）。



以上